

令和2年8月17日

地球規模保健課題解決推進のための研究事業
日米医学協力計画の若手・女性育成のための日米共同研究公募に係る
事後評価コメント

研究開発課題名	Establishment of a novel in vitro system to assess Plasmodium vivax hypnozoites and its application for the metabolomic and pharmacological analysis
研究開発機関名	長崎大学
研究開発代表者名	金子 修

指摘事項

- 評価できる点
マヒドン大学との共同研究体制を構築して、三日熱マラリア原虫の肝休眠体に対する薬剤スクリーニング評価系を構築したことは評価できる。
- 疑問点、改善すべき点
まだ単に肝細胞の培養系にスポロゾイトを感染させることに成功したに過ぎず、開発した評価系を用いたスクリーニングの成果が十分に出ていない。今後とも研究を継続し、目的としていた代謝産物解析、休眠体を殺滅できる薬の評価システム構築することを期待する。本事業の目的の一つでもある若手・女性研究者のキャリアパス支援についても、一層の取組を期待する。

以上